

平成26年 1月20日

松阪市議会議長  
中 島 清 晴 様

松阪市議会議員  
久 松 倫 生

1月12日（日）に松阪市産業振興センターにおいて開催された「第3回議会事務局研究会シンポジウム IN 松阪」に政務活動費を活用して参加致しました。報告いたします。

## 行事のテーマ 「二元代表制を考える～議会及び事務局体制強化策について～」

第1部の基調講演が元三重県議会事務局次長え松阪市の議会改革のアドバイザーとしてお世話になった高沖秀宜氏の「二元代表制に惹かれて」であり、ぜひともこのお話を聞くこと、さらにパネルディスカッションで全国の実践にふれることにより松阪市議会の取り組みの前進に寄与したいと考え、参加しました。この分野の研究者はじめ専門家の参加も多く、会そのものがグレードの高さを実感しました。県下からも、実践を進める議員や事務局関係者の参加が多くしっかりした催しの感を強くしました。

高沖氏の基調報告は、氏が著された著書の内容に即したものであったと受け止めますが、「反論権」など松阪市議会の基本条例も紹介されました。

氏の論点として、予算編成なども議会の力でという提起は、「二元代表制」への考え方を示されたものとして、今後も注目していきたい課題だと思いました。

パネルディスカッションは「二元代表制の追及～政策形成機能と事務局強化の観点から～」のテーマで5人のパネリストが発現され、レポートも出されました。

それぞれの取り組みの特徴はありましたが、松阪市議会の取り組みから見れば、基本条例を手づくりというか、話のなかで出ていた事務局なり専門家にゆだねて、つくるというのではなく、時間がかかっても自分たちでつくっていったことは、よかったことが明らかになったと思います。61回の作業部会を全部参考にしたという方もあって松阪市議会の積み上げは結構がんばったものと受け止められました。これからの課題は一つひとつ解決していきたいと思いました。

付け足しですが、終了後の交流で、特別委員長として歓迎のあいさつ等の機会を得たこと、多くの方々と交流をもてたことを深く感謝いたしたいと思います。

以上